

すみれ通信 48号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています



令和元年 2019年6月1日

〒 251-0032
藤沢市片瀬339-1
藤沢市医師会館
在宅医療支援センター
☎ 0466-41-9980
Fax 0466-41-9981
メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp

6月



出前講座

在宅医療支援センターでは、市民の方を対象に出前講座を行っています。



昨年度は11回、のべ320名の方にご参加を頂きました。講座の依頼は、町内会や、老人会、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、施設からありました。

出前講座で行っている内容は、

- ・在宅医療について
- ・かかりつけ医を持つ

この二つを大きなテーマにしていますが、その中には、今の日本の現状について（2025年問題や医療変革による病院と施設の在り方、健康寿命について認知症について、自分らしく暮らし続けるための生き方や終末期の過ごし方など）お話をさせてもらっています。

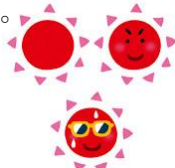
年1回開催している市民講座においては「自分らしい最期を迎えるために考えておきたいこと」をテーマに講演会を開催しています。

「在宅医療・介護」連携多職種研修会では、「ACPについて」を取り上げて、医療や介護に関わる私たちはこの事について理解をしてきましたが、多くの一般の市民の方にわかりやすくお話をする機会の必要性を感じています。

市民の方の反応は、「医療のしくみや病院の役割など初めて分かった、多くの市民へ啓発して欲しい」等の意見がたくさん聞かれています。

今後も継続していきますので、希望される団体等ありましたら声をおかけください。

資料や出張は無料で行っています。



令和元年 第1回

「在宅医療・介護連携」多職種研修会

日時：6月17日（月） 19:30~21:00

場所：藤沢市医師会館

テーマ：社会福祉の捉え方と考え方

講師：坪 洋一（あくつ よういち）氏

日本女子大学 人間社会学部教授

申込みは、6月13日までにFAXで

* ICT（在宅医療・介護系情報通信システム）の導入に関する事

今年度、ICT導入に向けての検討を行なう事になりました。検討に先立ち、在宅医療支援診療所・病院を申請している医師会医療機関44カ所に事前アンケートを行ないました。（回収数39）

すでにICTを導入している医療機関が8医療機関あり、テスト導入に協力して頂ける所も半数近くありました。プレゼンテーションの日程など今後詳細が決まりましたらお知らせします。

地域包括システム推進室から医療機関へのごお願い



ケアマネジャーは医療機関からの情報をもとに担当する利用者の居宅サービス計画を作成し、在宅生活への移行に向けた調整を行うことになっています。

「在宅⇄入院」の情報を共有することで、切れ目のない支援が受けられる環境を整えることが必要です。

平成30年の介護保険法の一部改正により、居宅サービス計画を作成した際には、当該居宅サービス計画を主治の医師等に交付するよう明記されました。ケアマネジャーから提出があった場合には、情報共有の一つとして活用していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

精神科に特化した訪問看護ステーションです

デューン藤沢 所長 金子真吾

私たちは、メンタル面のサポートはもちろんのこと様々な状況に応じたケアを心がけており、どのようなサポートを行なえばその人がその人らしく地域における一人の生活者としていけるのか、という事を大切に活動しております。

入院生活が長くなってしまった患者様は症状が安定していても日常生活能力が低下してしまっていることがあります。例えば、私たちが当たり前に行っているゴミ出し。それができず生活環境が悪化し精神状態が不安定となり、最悪な場合再入院となってしまう事があります。そんな時にその地域に合ったゴミ出しの方法のアドバイスや、生活するうえでのアドバイスや、生活するうえでの不満や不便を受け止める人がいたら結果はおのずと変わってくるのではないのでしょうか。

他にもデューン藤沢には「住宅支援」という特徴的なサービスがあります。精神科では退院先が見つからず、入院が長引いてしまう事があります。その際に退院先の住居を確保し利用者に御貸しするサービスをしています。これにより地域で生活ができる障害者の可能性が格段に上がるのではないのでしょうか。

より多くの方がその人らしく地域で生活できるよう私たちはこれからも心に寄り添った看護をしていきたい所存です。

